

( 令和4 ) 年度 学 童 ク ラ ブ 事 業 年 間 活 動 報 告 書

( 京都市音羽 ) 児童館・学童保育所

	活動の基本目標 (指針)	主 な 取 組 名	成 果 と 課 題
生活援助機能	<p>安全・衛生の確保</p> <p>健康の管理・情緒の安定</p> <p>基本的な生活習慣の確立</p> <p>社会生活技術の獲得</p>	<p>○基本的取組 (挨拶・整理整頓)</p> <p>○職員による安全指導</p> <p>○アレルギー対策</p> <p>○感染症予防指導・風邪予防指導 (コロナ感染予防・インフルエンザ感染予防)</p> <p>○おやつ提供</p> <p>○宿題・勉強の習慣</p>	<p>○ 日頃より、挨拶の習慣をつけるだけでなく、「なぜ挨拶をするのか」などの話をして子どもたちに挨拶の大切さを指導。地域の方や、一般来館で来られた方にも自ら挨拶できるようになった。片付けや身の回りの整理整頓を心がけるよう指導をした。次年度も繰り返し指導が必要。</p> <p>○ 集団下館時の様子などを職員間で共有。児童には帰りの会で指導することで、安全に下館することができた。次年度も継続して安全確保を行う。</p> <p>○ 児童台帳により、児童のアレルギーについて記入してもらい児童館で把握し、おやつ等を配慮する。今年度、食物アレルギーの児童がいる為、対象食品除去。職員間にてアナフィラキシーショック等の研修実施。</p> <p>○ 帰館時・外遊びから帰ってきたとき・おやつ時・感染症予防に配慮した。(コロナウイルス・インフルエンザ等)特に手指消毒・検温・手洗いの習慣を徹底した。(換気・マスクの着用・手指消毒を実施)手洗いはペーパータオルを使用。優先して感染症拡大防止対策を取ることが多くなった。</p> <p>○ 夕飯までの補食・楽しく食べることにより情緒の安定を図る。</p> <p>○ 帰館時・長期休暇時の宿題・自主学習の時間には、静かに過ごす時間を位置づけて、学習ができる環境を配慮する。</p>
子ども育成機能	<p>生活体験の拡大</p> <p>社会性の養成</p> <p>自立の促進と自主性の尊重</p>	<p>○お誕生日会</p> <p>○フレンドリーダー</p> <p>○長期休業中の活動</p> <p>○館外活動 (京都市動物園)</p> <p>○高学年スタッフ対象館外活動 (京都水族館)</p> <p>○将棋大会</p>	<p>○ 各月に誕生日会を開催。子どもの成長の区切りとなる個々の誕生日を、学童クラブの仲間と集団遊びを行い、手作りの誕生日カードやプレゼントを用意してお祝いをした。</p> <p>○ 様々な種類の集団遊びを各月1回に開催。様々な遊びを体験することができた。</p> <p>○ 一日の流れを意識して、メリハリをもって生活することができた。高学年は「夏まつり」の行事に向けて、企画したり、準備をしたりして活躍していた。</p> <p>○ 小学校長期休業中に実施。公共交通機関を利用し、館外では一年間一緒に過ごした仲間と多様な体験ができた。</p> <p>○ 高学年スタッフの児童が対象として館外活動を実施。児童の意見を吸い上げながらプログラムや行程を作り上げた。</p> <p>○ 日常の遊びから発展し、将棋大会を実施。学童クラブ児童を対象として参加を募り、高学年の部、低学年の部に分かれてトーナメント形式で行った。ネットを活用し、他館との交流試合も行うことができた。</p>
子育て支援機能	<p>子育てに必要な情報の提供と交換</p> <p>子育ての仲間づくり</p> <p>子育てを支えるネットワーク形成</p>	<p>○学童クラブたより作成・配布</p> <p>○入会説明会の実施</p> <p>○途中入会児童への対応</p> <p>○連絡帳の活用</p> <p>○小学校、地域との連携</p>	<p>○ たよりを配布することにより、季節の行事、児童館事業の取組みを周知し、気軽に子育ての情報や連絡を知り子育てに活かす環境を整備することができた。</p> <p>○ 3月に入会説明会を実施し、「音羽児童館のしおり」を配布。学童クラブの役割や目的を説明。生活の流れや決まりなどを丁寧に説明、個別に質問に答えることで安心して学童クラブの生活が送れるように努めることができた。</p> <p>○ 受け入れに際して、保護者への説明をはじめ、児童に対しても学童クラブの生活に少しでも早く慣れることができるように親しい友達と一緒に過ごし、徐々に好きな遊びを見つけて過ごせるよう配慮した。</p> <p>○ 連絡帳を活用することにより、児童館から保護者へ、保護者から児童館へ風通しの意見の相互交換ができた。連携や関係性の確立に役立てることができた。</p> <p>○ 小学校とのおたより交換を主として、小学校との連絡体制を密に行った。地域との信頼関係構築し、児童館の行事にお手伝いで入ってもらうなど、児童と地域住民が触れ合う機会をつくった。</p>

( 令和4 ) 年度 学 童 ク ラ ブ 事 業 年 間 活 動 報 告 書

( 京都市音羽 ) 児童館・学童保育所

行事名	実施回数	学童クラブ児童						登録外児童		ボランティア			その他	合 計	内 容	
		1年	2年	3年	4年	5年	6年	1～3年	4～6年	中高生	大学生	大人				
(1)基本的取組 (安全指導・整理整頓)	毎日															日頃より、挨拶の習慣をつけ、自ら挨拶できるようにする。また、片付けの習慣をつけるよう目指す。
(1)安全指導	随時															帰りの会で下館時の帰り方の指導を行う。また、下館に付き添い安全な帰り方や場所など、その都度指導する。
(1)清掃活動	随時															職員と一緒に日々の清掃の手伝いを行う。
(1)交通安全教室	1回	17	12	19	13			1						4	66	山科署スクールサポーターによる交通安全教室を実施。地域の方々の参加もあり、下館時の交通ルールについて学ぶ。
(2)フレンドリーダー	15回	180	122	148	120	42		5							617	各月に一つのテーマにそって集団遊びで遊ぶ。
(2)誕生会	12回	148	89	93	114	24		8							476	各月に学童クラブの仲間の誕生日をお祝いする。
(3)おたより配布	12回	238	205	242	224	113									1036	月に1回発行。学童クラブ行事や、お知らせなどを保護者に伝える
(1)避難訓練	5回	73	48	59	49	18		3							250	災害時や不審者への対応について訓練を行った。
(1)大掃除	1回	7	6	5	10	3									31	役割分担をして児童館の清掃を行った。
(2)将棋大会	1回	1	1		2										4	洛和会ヘルスケアシステム主催の将棋大会にオンラインで参加
(2)館外活動「京都市動物園」	1回	16	13	11	12	2									54	春休みのおでかけとして、京都市動物園にお出かけを行った。
(2)館外活動「水族館」	1回				10	4									14	高学年スタッフを対象にお出かけを行った。

\*注1 行事名は、(1)生活援助機能 (2)子ども育成機能 (3)子育て支援機能に分類して記入すること  
 \*注2 2クラス以上の館所で、クラスごとで異なる取組・行事を実施した場合は、行事名と併せて、クラス名を記入すること